

地域の人々の生活と健康実習

I 実習目的

地域の人々の生活の場や健康支援活動の実践を通し、地域の人々の生活と健康を支援するための基礎的能力を修得する

II 実習目標

- 1 地域の人々に対して保健医療福祉および行政が取り組む健康づくり活動の実際を理解する
- 2 地域の人々の健康意識や健康に対する考え、思いを理解する
- 3 地域の人々の生活や健康課題から地域で生活する人々への健康支援を理解する
- 4 地域の人々の生活と健康を支援する看護の役割を考察する
- 5 地域の人々の生活と健康を支えるために必要な態度を修得する

III 実習構成

1 単位と時間数

2単位（総時間数 90 時間）

2 実習構成内容・実習場所・実習時間

実習構成内容	実習場所	実習時間
オリエンテーション	新潟県立十日町看護専門学校	4 H
地域の人々に対して保健医療福祉および行政が取り組む健康づくり活動の実際	地域医療魚沼学校（魚沼市立小出病院） 新潟県十日町地域振興局健康福祉部	6 H
健康づくり活動の実際 健康課題の抽出・健康支援の理解	新潟県十日町地域振興局健康福祉部 十日町市市民福祉部健康づくり推進課 十日町市市民福祉部地域ケア推進課 （十日町いきいきエイジング講座） 十日町市中央公民館 NPO法人ネージュスポーツクラブ ほのぼの園居宅介護支援事業所 シルバー人材センター	60 H
振り返り、発表準備、発表など	新潟県立十日町看護専門学校	20 H

IV 実習内容

実習目標・行動目標	実習内容
1 地域の人々に対して保健医療福祉および行政が取り組む健康づくり活動の実際を理解する (1) 地域医療魚沼学校の役割を説明する (2) 地域住民と医療関係者等が取り組む健康づくり活動の実際を述べる (3) 地域医療魚沼学校の健康づくり活動を行う意義を述べる (4) 地域住民として実現可能な自己の健康づくりの取り組みを考察する (5) 住民の健康を守るうえでの、国・保健所・市役所の役割や連携について述べる (6) 住民の健康を守るための専門職とその役割と、健康づくり活動の実際を理解する	①地域医療魚沼学校の機能と活動の実際 ・学校の沿革、教育目的、教育目標 ・学校カリキュラム ・講演会への参加 ・住民参加型の健康づくり活動の意義 ②実現可能な自己の健康づくり ③国や自治体の政策・施策・事業の関係 ④保健医療圏と地域における保健医療福祉システム ⑤地域振興局健康福祉部（保健所）の役割 ⑥地域振興局健康福祉部で働く専門職 ⑦保健所と市町村保健センターの関係と連携 ⑧保健所における健康に対する活動内容
2 地域の人々の健康に対する考え、思いを理解する (1) 健康活動に参加する住民の特徴を述べる (2) 健康活動に参加する住民と一緒に活動し、人々の健康に対する情報を収集する (3) 健康活動に参加する住民の生活や健康に対する考え・思いを述べる (4) 地域で就労する高齢者の生きがい・思いを説明する (5) 地域で生活する人々の生活上の特徴や工夫から健康への思いを考える (6) 健康活動に参加する住民の生活や健康に対する考え・思いから考えられる生活や健康上の問題に気付く (7) 地域の人々が地域で生活する上で必要な支援の在り方について自らの考えを述べる	①地域の人々の生活、健康維持の特徴 ・季節の変化に応じた健康維持活動 ・生活状況、暮らし方、健康状態 ・生活上の困難さやそのことに対する工夫 ・住居の特徴における生活上の課題 ②地域の人々が十日町地域に暮らす意味 ③住み慣れた地域で可能な限り健康な生活を送るために期待すること ④高齢者の就業 ・高齢者が地域で就労あるいは活動する目的 ・生きがい、健康への意識 ・シルバー人材センターのしくみ ⑤訪問した家庭の生活の実際 ・季節の変化による住居対策 ・住居の特徴ゆえの生活上のリスク ・健康を維持し生活を送るための工夫 ・家族の暮らし方や生活必需品の調達方法
3 地域の人々の生活や健康課題から地域で生活する人々への健康支援を理解する (1) 地域で生活する人々の健康状態の特徴を述べる (2) 地域で行われている健康を支援するための活動を述べる	①地域の人々の健康状態の特徴 ・人口の年代構成、家族構成 ・受療率、医療費、検診の受診率 ・平均寿命、喫煙率、死亡率 ・BMI、体脂肪率 ・食生活の特徴

(3) 地域の人々の生活と健康に対する健康支援活動から健康支援の目的と意義を述べる (4) 地域の人々の生活と健康に関する情報から健康課題を説明する (5) 参加した健康支援を振り返り、健康支援における工夫や配慮を述べる	②行政で実施している地域の人々を対象とした健康支援の見学、調査 ・地域で実施している住民検診や健康調査、健康教室、介護予防教室、十日町いきいきエイジング講座などの概要・活動内容・意義 ・地域の人々を対象とした健康支援の目的・目標、支援者の役割、留意点などの理解 ・それぞれの活動に対する住民の参加状況 ・利用者、参加者の特徴、関心度、思い ・地域住民とのコミュニケーション ③地域の人々の生活と健康状態の分析、健康課題の抽出 ・健康状態の特徴からの課題
4 地域の人々の生活と健康を支援する看護の役割を考察する (1) 看護者として、地域の人々の生活と健康に対する思いを知ることの意味を述べる (2) 地域の人々への健康支援における国・県・市町村の連携・協働することの意味を述べる (3) 実習を通して地域の強み・弱みを述べる (4) 地域の人々が健康に生活するための支援策を提案する	①地域の人々の生活と健康に対する思い ②見学・参加した活動や機関同士のつながり ③地域の強み・弱み ・地域の資源 ・組織、人材 ・コミュニティ ④自分たちが考える具体的な支援策の提案 ・看護者が活躍する場
5 地域の人々の生活と健康を支えるために必要な態度を修得する (1) 他者の意見を受け止め、自分の意見を述べる (2) 看護実践能力の向上に向けて、自己を振り返り、課題解決に向けた姿勢を示す (3) 実習での経験を踏まえ自己の学びを述べる	①看護職の倫理綱領 ②受容的・共感的態度 ③意見や助言を謙虚に聴く姿勢 ④アサーティブな行動 ⑤クラスやグループ内での役割や協力・協働体制 ⑥報告・連絡・相談 ⑦個人情報や記録物の取り扱い ⑧実習記録、提出期限の遵守 ⑨心身の健康管理 ⑩カンファレンスの参加姿勢

V 実習配置

別紙参照

VI 実習方法

- 1 地域医療魚沼学校（魚沼市立小出病院）
 - 1) 地域医療魚沼学校についてのオリエンテーション
 - 2) 講演会の聴講
 - 3) 活動の実際の見学を通して、保健医療福祉および行政が取り組む健康づくり活動を行う意義について考察する
- 2 健康づくり活動への参加・健康課題の抽出・健康支援の参加
 - 1) 施設の概要、健康支援活動内容、意義、役割等についてのオリエンテーション
 - 2) 地域に住む人々の生活と健康状態の特徴についてのオリエンテーション
 - 3) 各施設における健康支援活動内容の見学、および参加
 - 4) さまざまな健康支援に係る活動に参加し、活動の目的、意義、内容、方法、健康に対する思い・考えについて知る
 - 5) 上記1)～4)をもとに、健康課題や必要な健康支援を考察する
- 3 発表会
 - 1) 実習全体を振り返り、目標4 についてグループごとにパワーポイントでまとめ、発表する
 - 2) 発表会の運営をグループの枠を超え、全員が協力して行う

VII 実習記録

- 1 実習評価表（地域の人々の生活と健康 様式1）
- 2 学修成果レポート（地域の人々の生活と健康 様式2）
- 3 「地域医療魚沼学校」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式3）
- 4 「十日町いきいきエイジング講座」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式4）
- 5 「地域の人々が参加する健康活動」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式5—①）
- 6 「地域の人々が参加する健康活動」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式5—②）
- 7 「地域の人々が参加する健康活動」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式5—③）
- 8 「行政が取り組む健康づくり活動」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式6）
- 9 「地域で就労している高齢者の活動」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式7）
- 10 「ほのぼの園居宅介護支援事業所」実習からの学び（地域の人々の生活と健康 様式8）
- 11 「十日町いきいき健康調査」参加からの学び（地域の人々の生活と健康 様式9）
- 12 事前学習・追加学習

VIII 実習評価

最終評価は、評価表に基づき担当教員が評価する